

開設科目名	科目：建築装備学Ⅰ										担当教員：井上容子							
開 講 期	後期		授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間							
対 象 学 生	2回生		科目番号：065090															
授業の概要	生活に必要な安全性・快適性に関する情報の大半が視覚を通して得られることから、主として視覚的な側面から建築装備の要件について学習する。前半で、人体寸法および視覚の心理生理的な特徴と建築装備の関わりについて、加齢等に起因する個人差にも言及して講義する。後半で、視環境計画に関する基礎知識について講義・演習を行う。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	①人体寸法と快適な生活空間との関連を理解する。 ②視覚の心理生理的特徴と、視環境計画の要件を理解する。 ③光の量と照明計算の基礎を理解する。 ④照明計画に関する知識を学習する。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
						○	○	◎			○							
キーワード	事故・疲労、至適寸法、知覚・視覚、高齢者、視環境計画、照明計算、人工照明計画																	
授 業 計 画	第1回 概説、環境の認識と評価の構造 【第一部】 第2回 家庭内の事故・疲労と環境条件 第3回 人体寸法と設計のための至適寸法 第4回 建築空間および装備の寸法 第5回 知覚の心理生理的特徴 第6回 知覚の評価・測定方法 【第二部】 第7回 目の構造、視覚 第8回 視環境計画の要件 第9回 高齢者などの視覚的弱者のための視環境要件 第10回 光とその量 第11回 照明計算の基礎 第12回 照明計算の基礎 第13回 人工照明計画、光源 第14回 照明計画事例 第15回 試験																	
教 科 書	伊藤克三他4名共著『大学課程 建築環境工学』オーム社																	
参 考 書	テキスト、参考文献に加えて、適宜プリントを配布。参考図書として下記のものがある。 ①人間工学教育研究会編『人間工学入門』日刊工業新聞社 ②日本建築学会編『建築設計資料集成』彰国社 ③照明学会編『最新やさしい明視論』照明学会 ④日本建築学会設計計画パンフレット23『照明計画』彰国者 ⑤日本建築学会編『高齢者のための建築環境』彰国社																	
成 績 評 価 方 法	期末試験、授業内レポート、課題（宿題）を総合的に評価する。																	
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト		宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授業への 参 加 度		受 講 者 の 発 表 （プレゼン）		出 席				合 計				
	70%	15%		15%		%		%		%		%		100%				
備 考	①A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 ②基礎的知識を応用した演習問題を課題（宿題）として課す。 研究室 E棟4階403号室、オフィスアワー水曜日16時～18時 mailyoukoinoue@cc.nara-wu.ac.jp																	